

「林道工事における土工（切盛計画）の設計積算について（平成30年6月27日付け）」正誤表

正	誤
<p>別添①</p> <p>平成30年7月改訂に伴う林道工事における切盛流用計画に関する土工の考え方について</p> <p>1・ブルドーザの規格は、車道幅員及び施工土量で決定 「3m以下・11t」「3m以上1万m³未満・15t」「3m以上1万m³以上・21t」 2・バックホウの規格は、車道幅員及び施工土量で決定 「3m以下・0.35m³」「3m以上1万m³未満・0.60m³」「3m以上1万m³以上・0.60m³」 3・ダンプトラックの規格は、車道幅員及び施工土量で決定 「3m以下 4t」「3m以上1万m³未満 10t」「3m以上1万m³以上 10t」 4・トラクタショベルの規格は、車道幅員及び施工土量で決定 「3m以下・山積1.3m³」「3m以上1万m³未満 山積1.8m³」「3m以上1万m³以上 山積1.8m³」 5・人力岩掘削歩掛けについては、平成29年版治山林道必携に掲載がないため、留意事項に掲載する。 6・断面で、全盛土の場合は、すべてBT1(※旧 BA)とする 6・補強土壁(アダムウォール)の背面については、計算を補強土壁内の土とは、別に算出し計上を行う(BT1(旧BA)) 7・ジオバックウォールについては、通常の擁壁工と同じ扱いで、埋め戻し歩掛けは『W=最大施工幅』に応じた歩掛かりを適用する 8・路体及び路床で『W < 2.50』については、締固めの単価しかないため、人力盛土(埋戻し)を別途計上 9・断面で、全盛土の場合は、すべてBT1(※旧 BA)とする</p> <p>表 「略」</p> <p>別添② 「略」</p>	<p>別添①</p> <p>平成30年7月改訂に伴う林道工事における切盛流用計画に関する土工の考え方について</p> <p>1・ブルドーザの規格は、車道幅員及び施工土量で決定 「3m以下・11t」「3m以上1万m³未満・15t」「3m以上1万m³以上・21t」 2・バックホウの規格は、車道幅員及び施工土量で決定 「3m以下・0.35m³」「3m以上1万m³未満・0.60m³」「3m以上1万m³以上・0.60m³」 3・ダンプトラックの規格は、車道幅員及び施工土量で決定 「3m以下 4t」「3m以上1万m³未満 10t」「3m以上1万m³以上 10t」 4・トラクタショベルの規格は、車道幅員及び施工土量で決定 「3m以下・山積1.3m³」「3m以上1万m³未満 山積1.8m³」「3m以上1万m³以上 山積1.8m³」 5・人力岩掘削歩掛けについては、平成29年版治山林道必携に掲載がないため、留意事項に掲載する。 6・断面で、全盛土の場合は、すべてBT1(※旧 BA)とする 6・補強土壁(アダムウォール)の背面については、計算を補強土壁内の土とは、別に算出し計上を行う(BT1(旧BA)) 7・ジオバックウォールについては、通常の擁壁工と同じ扱いで、埋め戻し歩掛けは『W=最大施工幅』に応じた歩掛かりを適用する 8・路体及び路床で『W < 2.50』については、締固めの単価しかないため、人力盛土(埋戻し)を別途計上</p> <p>表 「略」</p> <p>別添② 「略」</p>